

スズキ、インド工場建設予定地の定礎式を実施



スズキ株式会社(以下、スズキ)は 8 月 28 日、インド四輪生産子会社スズキ・モーター・グジャラート社がグジャラート州に建設予定の電気自動車(BEV)向け車載用電池工場、およびインド子会社マルチ・スズキ・インディア社(以下、マルチ・スズキ)がハリヤナ州カルコダに建設を予定している新工場の定礎式を実施しました。

今回の定礎式は、グジャラート州ガンディナガルにある国際会議場「マハトマ・マンディール」で開催されたスズキのインド事業 40 周年記念式典において行われました。式典にはインドのモディ首相、グジャラート州パテル首相、鈴木 駐インド日本大使が列席のもと、カルコダの建設予定地よりハリヤナ州カッタール首相およびマルチ・スズキの鮎川副会長がオンラインで出席しました。また、スズキからは鈴木社長、鈴木相談役、齊藤専務、マルチ・スズキのバルガバ会長、竹内社長などの関係者が出席し、今後本格的に開始される建設工事の安全を祈願しました。BEV 向け車載用電池工場は 2026 年、カルコダ四輪工場は 2025 年の稼働を予定しています。

スズキは、インド自動車市場の成長にあわせて生産能力を増強することで、経済成長を続けるインドにおいて、モビリティの多様な選択肢を提供し続けるとともに、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

●BEV 向け車載用電池工場およびカルコダ四輪工場の概要

	BEV 向け車載用電池工場	カルコダ四輪工場
稼働予定時期	2026 年	2025 年
生産能力	-	25 万台(初年度)
投資額	約 730 億ルピー	約 1,100 億ルピー